

2020年度 調剤報酬改定の 準備はしていますか？

薬局未来塾 in岡山

2019年10月15日(火)

17:00~19:00

セイエル 岡山支店

岡山市北区野田2-4-5
(駐車場あり)

参加費：5,000円
(消費税別)

薬機法改正、0402通知、対物から対人へ
減らない医療費、増える薬局数
調剤のみの薬局・薬剤師は**レッドカード!**?



「医薬品医療機器等法の改正」が薬局・薬剤師のあり方を変える

～2020年からのサバイバルを考える～

昨年の後半から厚生科学審議会で医薬品医療機器等法（薬機法）改正案の議論が始まり、12月25日に「とりまとめ」が公表されました。内容から見てくるものは、骨太の方針に何度も出てくる「患者本位の医薬分業に向けた見直し」が根底にあります。ある面では医薬分業に対する批判が、薬機法改正に色濃く反映されているようです。

大きな見直しとして患者に対する服薬期間中のフォローの義務化、薬剤師の対人業務へのシフト、オンライン服薬指導の推進、薬局の機能区分としての「地域連携薬局」「専門医療機関連携薬局」などがあります。特に、薬剤師の対人業務に関連して薬剤師以外の者による調剤業務の一部も認められています。これらが本格的に実施されると薬局機能が見直され、薬剤師の働き方も変わらざるを得ないと考えています。

そして、議論にあった「かかりつけ薬局」以外の薬局はもういらない方向に報酬体系を変えていくとの厳しい指摘もありました。通常国会では、薬機法は継続審議となりましたが、秋の臨時国会には決まることが予想されています。この法案が通過すると、今後の薬局経営に対する影響は多大だと考えております。

今回は株式会社セイエルのご協力のもと、岡山にて来たるべき2020年の調剤報酬改定に向けたセミナーの開催となります。何かとお忙しいことと存じますが、この機会を境に来年に向けた準備を進めていただければ幸いです。

■ 待ったなし!! 怒涛の半年がスタート

第1ラウンド
(前回改定の振り返り)

第2ラウンド
(個別項目議論)

第3ラウンド
(最終調整)

調剤報酬
改定

7月末 9月中旬

12月中旬

1月下旬 2月中旬

4月

診療報酬の個別改定項目いわゆる「短冊」が発表されるのは、例年1月下旬。その半月後には最終的な報酬改定項目が発表されます。そして、4月には新しい報酬がスタートします。実質1か月間で新報酬への対応をしなければいけません。経営を大きく左右する調剤報酬。果たしてそんなにのんびりしていいのでしょうか。情報をいち早く察知し、実績・体制づくりに取り組む必要があります。この半年をどのように過ごすのかで4月からの経営が大きく変わります。

2025年薬局に求められる“あるべき姿”とは

2015年「患者のための薬局ビジョン」から4年がすぎ、薬局業界はどのように変化をしたのでしょうか。薬局業界が主張している貢献と、他団体の主張、そして世論との乖離を感じずにはられません。

薬機法改正に向けた参議院向けの資料では「医薬分業のメリットを患者も他の職種も実感できていない」という指摘や、「多くの薬剤師が患者や他の職種から意義を理解されていないという**危機感**がない」と、このように指摘されています。果たしてこのままの薬局業界で、2025年の地域包括ケア、そしてその先にある2040年までの道のり乗り越えていけるのでしょうか。薬局業界が置かれている状況を理解し、求められる姿を再確認していきたいと思えます。そこには必ず「本物の薬局」「本物の薬剤師」が存在します。

講師

駒形 和哉

(株式会社Kaeマネジメント
代表取締役)

薬剤師 中小企業診断士
宅地建物取引士
福祉住環境コーディネーター



東北薬科大学卒業後、医薬品卸入社。営業担当、コンサルティング担当を経て、平成9年関連会社の設立に関わり、社長として同社を調剤薬局、在宅介護用品販売・レンタルの会社として成長させた。平成19年同社を退社。8月より医療・福祉・薬局関連分野を中心とした経営コンサルタント会社である株式会社Kaeマネジメントを設立。多彩な経験と豊富な知識から語られる講義内容は、実践的でわかりやすいと評判。全国の薬剤師の兄貴として慕われている。

ブログ：医療介護を支える継続企業の知恵袋

<https://blog.goo.ne.jp/kae-manage>

テーマ

「医薬品医療機器等法の改正」が
薬局・薬剤師のあり方を変える
～2020年からのサバイバルを考える～

ポイント

- ・2019年上半期の振り返り
- ・薬局区分化という業界のふり分け
- ・薬局に求められる「結果」とは
- ・薬局VSドラッグストアの行方
- ・治療から予防への政策転換
- ・外来に頼らない薬局づくりとは
- ・大手調剤チェーンの成長戦略
- ・継続に向けた組織づくり、組織運営

お申し込み 「薬局未来塾 in 岡山」

FAX : 03-5829-6679

氏名①		氏名②	
氏名③		氏名④	
法人名(会社名)			
ご住所	〒		
電話番号			
E-MAIL			

※お申し込み後、ご請求書を送らせていただきます。

なお、当日のキャンセル、無断欠席等につきましては費用の返金はいたしませんのでご了承くださいませ。

お問い合わせ

株式会社Kaeマネジメント

☎ 03-5829-6659

✉ seminar@kae-management.com



OKAYAMA